

令和7年12月
新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会
定例会会議録

令和7年12月25日 開会
令和7年12月25日 閉会

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合

令和7年第3回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会12月定例会会議録

午後2時 開議

議事日程

第1. 議席の指定

第2. 会議録署名議員の指名

第3. 会期の決定

第4. 議長の選挙

第5. 議会運営委員の選任

第6. 議案第15号 令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
一般会計補正予算（第1号）

議案第16号 令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案第17号 監査委員の選任について

（提案理由説明 理事長）

（休憩） 全員協議会開催 議案細部説明

議会運営委員会開催

（再開） 質疑

第7. 一般質問

第8. 討論・表決（議案第15号から議案第17号まで）

第9. 議会運営に関する調査について（委員長報告・質疑・表決）

本日の出席議員（8人）

1番	柳田 守	君	2番	辻 泰久	君
3番	松倉 孝暁	君	4番	野村 康幸	君
5番	池原 純一	君	6番	鍵田 昭	君
7番	松田 俊弘	君	8番	欠席	
9番	由井 崇	君			

説明のため出席した者

理事長	武隈 義一	君	副理事長	笹島 春人	君
副理事長	笹原 靖直	君	会計管理者	寺林 佳子	君
監査委員	八木 正則	君	事務局長	福澤 祐子	君
総務課長兼CATV事業課長	米澤 信二	君	庶務・管理係長	澤木 亮	君
課長補佐・認定係長	籠瀬 亜希子	君	給付係長	狩谷 まり子	君
課長補佐・CATV係長	吉田 和宏	君			

職務のため出席した者

黒部市福祉課長	越 雄一	君	黒部市企画情報課長	能登 隆浩	君
入善町保険福祉課長	腰本 高輝	君	入善町財政課長	岡島 康司	君
朝日町健康課付課長	村澤 実	君	朝日町参事総務政策課長	谷口 保則	君

○事務局長（福澤 祐子君）開議に先立ち、申し上げます。本定例会におきましては、構成市町の議会組織の変更により、現在、議長が不在となっております。また、水野副議長におかれましては、所用により出席できない旨の連絡を受けております。

つきましては、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第 107 条の規定により、年長議員が臨時に議長の職務を行うこととなっております。

本日の出席議員中、辻 泰久議員が年長の議員でありますので、臨時議長となります。

辻 泰久議員、議長席にお着き願います。

○臨時議長（辻 泰久君）地方自治法第 107 条の規定により、臨時に議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日、12 月定例会が招集されましたところ、ただいまの出席議員は、8 名であります。定足数に達しましたので、これより「令和 7 年第 3 回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会 12 月定例会」を開会いたします。

監査委員から例月出納検査の報告がありました。お手元に配付したとおりでありますので、説明は省略させていただきます。

それでは、本日の議事に入ります。会議規則第 19 条の規定により作成しました議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

「議席の指定」

○臨時議長（辻 泰久君）日程第 1、「議席の指定」を行います。

議席は、会議規則第 3 条の規定により、ただいまご着席の席を指定いたします。

「会議録署名議員の指名」

○臨時議長（辻 泰久君）日程第 2、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 89 条の規定により、「4 番 野村 康幸 議員」、「9 番 由井 崇 議員」以上 2 名を指名いたします。

「会期の決定」

○臨時議長（辻 泰久君）日程第 3、「会期の決定」を行います。

お諮りいたします。今定例会の会期は、本日 12 月 25 日の 1 日間とすることにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○臨時議長（辻 泰久君）ご異議なしと認め、会期は「1 日間」と決定いたします。

「議長の選挙」

○臨時議長（辻 泰久君）日程第4、「議長の選挙」を行います。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○臨時議長（辻 泰久君）ご異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることに決しました。

さらに、お諮りいたします。臨時議長において指名することにいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○臨時議長（辻 泰久君）ご異議なしと認めます。

よって臨時議長において指名することに決しました。

議長に「池原 純一 議員」を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま臨時議長において指名いたしました「池原 純一 議員」を議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○臨時議長（辻 泰久君）ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました「池原 純一 議員」が議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました「池原 純一 議員」が議場におられますので、本席から当選の告知をいたします。

議長よりご挨拶があります。

○議長（池原 純一君）ただいま、推選により当組合の議長を仰せつかりました。精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。

○臨時議長（辻 泰久君）以上をもちまして、議長と交代をいたします。ご協力ありがとうございました。

「議会運営委員の選任」

○議長（池原 純一君）日程第5、「議会運営委員の選任」を行います。

議会閉会中に欠員となっております、議会運営委員の選任については、委員会条例第3条の規定により、議長において指名いたします。

議会運営委員に「柳田 守 議員」、「松田 俊弘 議員」を指名いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（池原 純一君）ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名しました「柳田 守 議員」、「松田 俊弘 議員」を議会運営委員会の委員に選任することに決定いたしました。

「議案第 15 号から議案第 17 号」

○議長（池原 純一君）日程第 6、「議案第 15 号」令和 7 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計補正予算（第 1 号）から「議案第 17 号」監査委員の選任についてまでの、議案 3 件を一括議題とします。

理事長より、提案理由の説明を求めます。「武隈 理事長」

（提案理由説明）

○理事長（武隈 義一君）それでは、最初に、一言ご挨拶を申し上げます。

先般、構成市町の議会において組織変更が行われたところであり、新たに当組合議員としまして、黒部市議会及び入善町議会より、4 名の議員の方々が本組合議員に選出されました。

当組合におきまして本年度は、第 9 期介護保険事業計画の 2 年目の年であり、これまでに取組を進めてまいりました、地域包括ケアシステムの充実に向けた方向性を継承しつつ、基本方針として「1. 介護予防の推進」、「2. 地域包括ケアの深化・推進」、「3. 介護保険サービスの充実及び負担と給付の適正化」を掲げて、きめ細やかな事業運営を進めております。

また、ケーブルテレビ事業では、本年 3 月をもちまして、従来の方式に比べ通信速度の高速化や将来の拡張性が向上した F T T H 方式のサービスへ、移行が完了したところであります。

これを強みとして身近な放送通信事業の提供に努め、更なる加入促進を図ってまいりたいと考えております。

このようなときに、識見豊かな議員の皆様をお迎えできたことは、大変心強く思っているところでございます。

また、今ほどは、人格、識見ともに卓越された池原 純一議員が議長にご就任されましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

議員各位におかれましては、当組合の運営に対しまして、それぞれの立場から活発なご意見を賜るとともに、格別なお力添えを賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

それでは、提案理由説明を述べさせていただきます。

本日ここに、令和 7 年第 3 回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合 12 月定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご参集を賜り、本組合の重要諸案件をご審議いただきますことに対し、深く敬意を表します。

それでは、議案の説明に先立ちまして、介護保険事業及びケーブルテレビ事業の概要を申し上げます。

まず、介護保険事業についてであります。本年9月末の状況を申し上げますと、管内における第1号被保険者数は25,941人で、前年同期と比べ227人の減少となっております。

また、第2号被保険者を含む要支援及び要介護認定者数は5,092人であり、前年同期と比べ25人の増加、認定者の発生率は19.6%となっているところであります。

一方、施設整備につきましては、第9期介護保険事業計画2年目の本年度において、9月に地域密着型サービス事業者の再公募を行ったところ、朝日町において、認知症対応型通所介護、グループホーム1施設・定員6人の申請があり、令和8年4月の開設に向けて準備を進めておられます。

組合としましては、管内地域住民の介護福祉向上のため、引き続きサービス事業所の着実な整備が進むよう、構成市町と共に力を注いで参りたいと考えております。

次に、ケーブルテレビ事業について申し上げます。

本年9月末のケーブルテレビ加入世帯数は22,324世帯で、加入率は78.9%であります。昨年同期と比べますと303世帯の減少で、加入率についても1.1%減少しております。

加入世帯の内訳としては、エコノミーコースが15,497世帯、スタンダードパススルーコースが3,029世帯、スタンダードS T Bコースが722世帯、プレミアムコースが3,013世帯、プレミアム4Kコースが63世帯となっております。

インターネット加入世帯数につきましては9月末時点で6,654世帯、加入率は23.5%であります。昨年同期と比べますと47世帯の増加となっております。

また、ケーブルプラス電話加入世帯数につきましては9月末時点で、1,531世帯、加入率は5.4%であります。昨年同期と比べ198世帯の増加となっております。

今後引き続き、加入促進に努めるとともに、組合管内1市2町全域の住民の皆さんが、ご家庭で、さらには教育現場や職場等において、快適に、かつ様々な用途に活用することができる、より魅力的なケーブルテレビ事業となるよう、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、本日提出しております議案についてご説明申し上げます。

はじめに、議案第15号は、「令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計補正予算（第1号）」であります。補正額は、予算総額に歳入歳出それぞれ803万円を追加し、補正後の予算総額を3億3,890万9千円とするものであります。

補正の内訳は、令和7年度税制改正に伴う介護保険料段階への影響に対応するための介護保険システムの改修費であり、補正に要します財源は、繰越金をもって充当するものであります。

このほかに、介護保険システムの標準化対応事業について、受託事業者の業務進捗の遅れと、標準化後の県全体での運用経費を改めて精査する必要があることから、標準システムへの移行時期を延期するため、当該予算の一部を繰り越すものであります。

続きまして、議案第16号は、「令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」であります。

補正額は、予算総額に歳入歳出それぞれ5,429万5千円を追加し、補正後の予算総額を93億9,693万6千円とするものであります。

補正の内訳は、令和6年度の介護給付費の精算に係る構成市町への返還金及び令和6年度低所得者保険料軽減負担金の確定に伴う、国・県への精算金を計上するものであります。

補正に要します財源は、繰越金をもって充当するものであります。

次に、議案第17号「監査委員の選任について」であります。

組合議員の改選により、新たな議会選出の監査委員を選任しようとするものであります。

以上、本日提出いたしました議案についての概要をご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、全員協議会でご説明させていただきます。

何卒、慎重ご審議の上、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。提案理由といたします。

○議長（池原 純一君）議案の細部説明を聞くため、暫時休憩いたします。

午後2時15分休憩

午後2時31分再開

「再開」

○議長（池原 純一君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

議会運営委員会の委員長の互選が行われましたので、その結果を報告いたします。

委員長に、「柳田 守 議員」が選出されたことを報告します。

日程第6の議事を継続し、これより質疑を行います。質疑ございませんか。松田議員。

○7番（松田 俊弘君）補正予算の介護保険特別会計のところ、分担金の返還があるとのことでしたが、各市町については返ってくるからいいではないかということになるのかもしれませんが、5,000万円強の返還金がどういうレベルなのかが掴めなくて、令和6年度の当初の分担金の占める割合はどのくらいなのか教えてもらえませんか。

○議長（池原 純一君）米澤総務課長

○総務課長兼CATV事業課長（米澤 信二君）令和6年度の分担金の決算額は11億1,075万1,559円でした。そのため、4%程度になろうかと思えます。

○議長（池原 純一君）よろしいですか。

○7番（松田 俊弘君）はい。

○議長（池原 純一君）他にございませんか。

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結します。

「一般質問」

○議長（池原 純一君）日程第7、「一般質問」を行います。

通告者は、2名であります。

念のため、発言順を申し上げます。1 番目「松田 俊弘 議員」、2 番目「松倉 孝暁 議員」以上であります。

順次、発言を許可いたします。なお、質問時間は答弁時間を含め 25 分以内となっておりますので、よろしく申し上げます。松田 俊弘君。

○7 番（松田 俊弘君）私は大きく 3 点質問するものですが、1 点目は組合管内の施設利用と施設入所待ちの実態について伺いたいと思います。入善町内では介護職員を確保できないなどで、小規模多機能施設が廃業しました。また、150 人定員だった老健施設が利用者の受け入れを大幅に減少し、今では定員 60 人まで減らしています。入善町議会でもこうしたことが取り上げられて、笹島町長は介護保険制度が機能していないとまで述べています。このような施設の縮小や廃業で町内の利用者が魚津市や富山市の施設を利用せざるを得なくなったと聞いています。こうした状態は入善町だけなのでしょうか。

そこでお聞きしますが、当組合管内の各市町の入所施設の稼働ベッド数は第 9 期介護事業計画が始まる前の令和 5 年と比べてどのように推移しているか、また地域密着型サービス事業所の利用者数の推移はどうなっているか併せて教えてください。

施設の廃止縮小は当然これから施設を利用したい人の入所制限につながります。そこでお聞きしますが、市町村ごとの施設入所待ちの人数はどうなっているか教えてください。

次に政府が補正予算で打ち出した、医療・介護等支援パッケージについて伺います。政府は、人材流出防止のための緊急支援と物価高騰対策のための緊急措置を実施するとして、パッケージを打ち出しました。介護分野では 4 つの事業からなるものですが、最大の予算を組まれているのは、介護分野の職員の賃上げ、職場環境改善支援事業です。この事業では介護事業者の介護従事者に対して月 1 万円の賃上げの支援を実施して、生産性向上や協働化に取り組む事業者の要介護職員に対してさらに月 5 千円を上乗せし、また、介護職員の職場環境改善を人件費に充てた場合は月 4 千円、合わせて月 1 万 9 千円の支援を行うというものです。いずれも半年間の措置となりますが、賃上げの要件には介護職員等処遇改善加算を取得していることが条件となっていますけれども、管内の事業所はすべて取得しているのか教えてください。

最後に、令和 8 年度の介護報酬改定について伺います。政府は介護職員の処遇改善のために、3 年ごとの介護報酬の改定を 1 年前倒しし、来年 6 月を目途に実施するとしています。報道によると、臨時改定では 2.03% 引き上げ、介護職は月に最大で 1 万 9 千円が賃金に上乗せされる方向だということです。これは補正予算で打ち出した支援パッケージを踏襲する内容と思われます。

厚生労働省の調査では、昨年全産業の平均ベース月給は 38 万 6 千円。これに対して介護職は 30 万 3 千円で、その差は 8 万 3 千円であったとのこと。政府が検討している介護職の処遇改善は十分なものと言えるのか教えてください。

ところで、介護報酬が引き上げられれば、その財源となる介護保険料に影響することになりますが、当組合はどのように対応するのか教えてください。以上が私の質問です。

○議長（池原 純一君）それでは、答弁を求めます。米澤総務課長

○総務課長兼 CATV 事業課長（米澤 信二君）松田議員のご質問にお答えいたします。

まず、1 つ目の項目「組合管内の施設利用と施設入所待ちの実態」についての 1 点目、「構成市

町毎の入所施設の稼働ベッド数及び地域密着型サービス事業所の利用者数は、令和5年度と比較してどのように推移しているか」についてお答えいたします。

組合管内の入所施設につきましては、グループホームや特別養護老人ホーム、老人保健施設等が該当いたしますが、ご質問の稼働ベッド数につきましては公表されておりませんので、その目安となる定員数の推移を構成市町毎にお答えします。

令和5年度末時点では、黒部市529人、入善町479人、朝日町246人、合計1,254人で、令和6年度末時点では、黒部市529人、入善町389人、朝日町237人、合計1,155人でございます。

5年度と6年度を比較しますと99人減少しており、これにつきましては、入善町の介護老人保健施設と朝日町のグループホームにおいて、定員を減少させたためであり、その主な理由は介護職員等の人材不足でございました。

また、地域密着サービス事業所の構成市町毎の利用者数の推移につきましては、各サービス種別の延べ利用者数令和5年度実績は、黒部市5,547人、入善町4,041人、朝日町1,794人の、合計11,382人、令和6年度実績は、黒部市5,671人、入善町4,162人、朝日町1,680人の、合計11,513人でした。

比較しますと、131人の増加、率にして101.15%で、微増でございました。構成市町毎・サービス種別毎に増減には違いはありますが、管内全体で見ますと、小規模多機能型居宅介護及び地域密着型通所介護が増加している一方、認知症対応型通所介護及びグループホームは減少している状況でありました。

次に、2点目の「構成市町毎の施設入所待ちの人数」についてお答えします。

当組合では、毎年管内事業所へ聞き取り調査を行っておりますが、その調査を取りまとめ、他の施設入所中の方や重複して申込みされている方を除いた事実上の待機者は、令和5年9月末時点においては、黒部市103人、入善町91人、朝日町54人、合計248人、令和6年9月末時点においては、黒部市97人、入善町62人、朝日町36人、合計195人、令和7年9月末時点においては、黒部市96人、入善町70人、朝日町48人、合計214人でした。

本年9月末時点では増加しておりますが、全体的な傾向としましては減少傾向にあります。

次に、2つ目の項目「医療・介護等支援パッケージ」についての「管内事業所の介護職員等処遇改善加算の取得状況」についてお答えいたします。

「医療・介護等支援パッケージ」につきましては、令和7年11月21日に閣議決定された「強い経済を実現する総合経済対策」において緊急措置されることとなった施策で、介護分野においては、他職種と遜色のない処遇改善に向けて、令和8年度介護報酬改定において必要な対応を行うこととし、さらには報酬改定の時期を待たず、人材流出を防ぐための緊急的対応として、賃上げ・職場環境改善の支援を行うこととされました。

令和7年11月28日に示されました本パッケージに係る関係事業の概要によりますと、介護分野の物価上昇・賃上げ等に対する支援につきましては、処遇改善加算取得が交付要件とされ、訪問看護や訪問リハビリ、介護支援事業所等の加算取得の対象外のサービスについても、処遇改善加算に準ずる要件を満たす、又は見込みであることにより対象となり、幅広い事業者職員1人あたり月1万円を半年分交付するものであります。

このほか、生産性向上や協働化に取り組む事業者に対しては、さらに上乘せされることとなっております。

管内の事業所の処遇改善加算取得状況につきましては、対象115事業所のうち、加算を取得して

いる事業所は106事業所であり、9割以上が取得している状況であります。

組合としましては、まだ処遇改善加算を取得されておられない事業所について、指定権者である県を通じて、加算取得を促して参りたいと考えております。

○議長（池原 純一君）それでは武隈理事長。

○理事長（武隈 義一君）次に、3つ目の項目「令和8年度の介護報酬改定」についての1点目、「検討されている処遇改善は十分なものなのか」についてお答えいたします。

報道によりますと、政府は介護職員の給与を来年6月から、月額最大1万9千円引き上げる方針を固められ、その賃上げは事業所ごとの定期昇給の後押しを含めた総額金額とされており、その財源確保のため、介護報酬を令和8年度の臨時改定により2.03%引き上げることとされております。

令和8年度の介護報酬改定については、厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会において審議されておられますが、介護分野の人材不足が深刻である状況を踏まえ、現行の介護職員等処遇改善加算を拡充することとし、これまで処遇改善加算の算定対象外であった、訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所についても、要件を満たす事業所を対象とすることと報告されております。

また、現行の処遇改善加算の取得要件は維持しつつも、持続的な賃上げに向けた環境整備の必要性等を踏まえ、生産性向上や協働化に向けた取組について、処遇改善加算の上乗せを行う要件として設けることが適当であると報告されております。

これらの詳細な内容は不明であることから、処遇改善が十分なものかにつきましては現段階では分かりかねますが、介護事業所が人材流出を防ぐとともに、適切な人員を確保できるよう、他職種と遜色のない処遇改善となるよう期待しております。

次に、2点目の「介護報酬が引き上げられれば、介護保険料に影響するが、当組合はどのように対応するのか」についてお答えします。

介護保険料は、令和8年度の介護報酬改定に伴い不足することが想定されますが、分科会においては、「報酬改定にあたっては、保険者の財政状況を十分に考慮し、制度運営に支障が生じないよう」との意見も挙がっており、8年度の介護報酬改定の影響により、介護給付費がどれくらい増加し、保険料必要額がいくらになるかは試算できる状況ではございません。

組合としましては動向を注視するとともに、令和6年度から8年度までの第9期介護保険事業計画における執行状況を精査のうえ、必要に応じて介護給付費準備基金を活用するなど、対応を検討してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（池原 純一君）それでは再質問を受けます。松田 俊弘議員。

○7番（松田 俊弘君）入所施設の定員数が99人減少しているということで、ただし入所待ちの人たちがそんなに増えていないというのはなぜなのかという思いがあります。それで、今度の補正で出された、緊急支援パッケージ、それから来年度行われる介護報酬の改定、同じような基準で決められているのであらうと思っています。まず、1万円の賃金を上乗せするための措置がとられて、それでさらに4千円だの5千円だのというふうには、2段階上乗せの要件がありますけども、その要件をちゃんと取得しているというところは115事業所のうち、処遇加算が106ということでしたけれども、上乗せ分の条件を満たしているところはどれくらいの数あるかというのは調べておられま

すか。

○議長（池原 純一君）米澤課長。

○総務課長兼CATV事業課長（米澤 信二君）はい。今ほど、答弁でお答えしました事業所数につきましては、介護職員等処遇改善加算のⅠからⅣまでのうち、いずれかを満たしている事業所の数を申し上げております。基準のⅠが加算率が一番高くなりますが、個別の事業所がどこまで取得しているかまでの統計は取っていないところでございます。

○議長（池原 純一君）よろしいですか。松田議員。

○7番（松田 俊弘君）どこかのタイミングで調べておいてもらいたいと思うんですけども、この加算を取る手続きが大変面倒くさいと事業所さんからは聞こえてくるんですが、何年か前はこの処遇改善加算は7割しか取れていないと聞かされていた時期があつて、その後制度改正がされてきて取りやすくなったのかなという思いもありますけれども、結局取っていないとなれば、県の方から促すということですけども、中には専門的な知識がないと対応ができないと聞いています。社会福祉協議会に相談することになるんですけども、この数字までが足りなかったということなんで、当組合として何か支援ができないのかなと、そういう社会保険事業者に講習を開いてもらうとか、そういった対応はできないんでしょうかね。

○議長（池原 純一君）米澤課長。

○総務課長兼CATV事業課長（米澤 信二君）はい。組合では令和6年度から事業所に向けた無料相談窓口を月1回開設しております。その内容につきましては、個別事業者ごとの対応ということになりますが、介護報酬加算に関する案件に対しても対応できますし、人材確保に関する相談、人間関係に関する相談など、幅広く受け入れておりますので、毎月事業所には案内をさせてもらっていますので、できれば気軽にご利用いただければと思っております。

○議長（池原 純一君）松田議員。

○7番（松田 俊弘君）支援を行っているということで安心しました。全ての事業所が処遇加算を取れるようにしておかないと、加算を取っていない職場の職員さんは別の職場に移りますよね。同じ区域内であればいいですが、別の区域に行かれてしまつては困るわけで、ぜひともすべてが加算を取れるようにしていただきたいなと思います。ただ、制度上の賛否が基本的に問題であるとおもっていますので、基本報酬はやっぱり引き上げていくべきだなというのは私の意見として述べておきます。どうもありがとうございました。

○議長（池原 純一君）それでは松田議員をこれで終わります。

次に、松倉 孝暁議員。

○3番（松倉 孝暁君）どなた様もお疲れ様でございます。議席番号3番松倉孝暁でございます。

議長から発言の許可を受けましたので、介護事業者がICT機器を導入することに対する支援について質問させていただきます。質問背景を少し説明させていただきます。先月11月19日に黒部市が企画されました、先進地視察に私自身参加をさせていただき、富山市のおおさわの福祉会ささづ苑さんを訪問、ICT機器を活用した介護現場を見学することができました。例えば、見守り支援システム「眠りスキャン」はマットレスの下に設置したセンサーにより、睡眠時の呼吸、心拍、寝返りなどを測定し、睡眠状態のデータをリアルタイムで確認することができるものでございました。

深夜の定期的な見回りをする労力が省け、最小限の人数で入居者の管理ができるようになることとあります。その他、この機能を有した骨伝導インカムを使用することで、介護記録を作成する手間が省けた事例や、人の手を借りずともトイレをする補助ロボットの導入など、どれも介護業界での慢性的な介護人材不足を助けるような、ICT器具が多数ございました。

そこで、質問でございます。介護事業者がこのようなICT機器を導入する側面支援として、国や県の補助制度だけではなく、組合としてもなんらかの支援ができないか検討すべきと考えます。

1点目ですが、補助金含め支援することについて伺いいたします。

2点目の質問ですが、先のささづ苑さんは厚生労働省の事業に採択された先進地の視察先でございました。11月19日の視察には事業者の方も参加されましたが、組合管内のより多くの事業者さんに知っていただきたいと思う内容でございました。ICT機器の導入に関する先進地事例を研修し、構成市町で情報共有することについて、以上2つの質問でございますが、ご答弁をよろしくお願いいたします。

○議長（池原 純一君） それでは、答弁を求めます。武隈理事長。

○理事長（武隈 義一君） はい。松倉議員のご質問にお答えいたします。「介護事業者のICT機器導入への支援」についての1点目、「ICT機器を導入しやすくするよう補助金を含め支援すること」についてお答えします。

全国介護労働安定センターが7月に公表した「令和6年度介護労働実態調査」では、回答のあった全国9,044事業所の65.2%が「介護人材の不足」を感じており、令和5年度に比べ0.5ポイント上昇しております。

本組合が毎年実施している事業所アンケートにおいても同様に、令和6年度では50.0%、令和5年度では68.5%の事業所が「介護人材の不足」を感じている状況です。

今後も介護需要の更なる高まりと生産年齢人口の減少が見込まれることから、管内においてもこの傾向は続いていくものと推測され、介護人材の確保は喫緊の課題となっております。

この問題に対し各事業所では、福利厚生の充実や、70歳以上の就業推進、介護補助員や外国人介護職員の雇用など、様々な方法で対応しておられます。

その1つとして、介護用ロボットやICT機器の導入に取り組み、それらを活用することで介護現場の業務改善と生産性向上につながった事例も伺っております。

富山県では、ICT機器の導入を積極的に支援しており、介護事業所が行う、利用者の移動や排泄、入浴支援のための介護用ロボットの購入やリースに係る経費、利用者の見守りやコミュニケーション機器の導入に伴う通信環境整備に関する経費、タブレット端末などのハードウェアや介護用ソフトウェア、ネットワーク機器の購入・設置、介護記録ソフトの導入に要する経費などに対して

補助しており、昨年度では318事業所の導入を支援しておられ、管内事業所に対しても昨年度で26件の導入を支援されていると伺っております。

昨年度の導入実績では、見守り・コミュニケーション機器や介護記録ソフトと併せ、タブレットなどの機器とそれらの通信環境を同時に整備した事業所が多かったと伺っております。

当組合としましては、この県の補助事業について、積極的に周知しているところですが、管内事業所の方々が集まる各種研修会や当組合が実施する介護人材確保のための講演会などの場も活用しながら、更なる周知に努め、利活用の促進につなげていきたいと考えております。

次に、2点目の「ICT機器導入の先進事例の研究および構成市町での情報共有」についてお答えします。

今ほどお答えしましたが、県内では既に多くの介護事業者がICT機器の導入に取り組み、介護サービスの質の向上と、生産性向上による職場環境の改善につなげておられます。

このようなICT機器導入の先進事業所について、黒部市では11月19日に、市内の介護事業所職員の方々や市議会生活環境委員会の構成議員の皆さま、市担当職員が、富山市大沢野と金沢市の2事業所の視察を行ったところであり、私も参加し先進事業所の取組を学ばせていただきました。

視察先の事業所では、入居者のベッドにセンサーを設置し、睡眠時の体動を測定・記録することで、入居者個人の睡眠状態に応じたケアプランの作成や生活習慣の改善、職員の業務負担の軽減につなげている事例や、骨伝導インカムを使用した音声入力による記録作成システムを導入したことで、これまでの紙媒体での記録作業と比べ大幅な時間短縮ができ、入居者と向き合う時間が増え、より質の高いケアにつながった事例など、ICT機器導入による様々なメリットについて、事業所で働く職員の方々の生の声を聞くことができました。

議員ご提案のとおり、組合としましても、こういった有益な情報を構成市町と共有しながら研究を重ね、県や介護労働安定センターなどの支援も受けながら先進事業所の視察や研修会などを開催し、管内事業者への情報提供とICT機器の導入促進を図ってまいりたいと考えております。

なお、構成市町におかれましても、介護職員の就労・定着に対する各種支援金の支給や研修費用の助成、小学生の福祉施設での介護体験や「14歳の挑戦」による福祉施設での就業体験など、様々な方面から積極的に介護人材の確保に取り組んでおられます。

このような情報についても構成市町と共有しておりますが、ご質問のICT機器導入の先進事例と併せて広く周知し、今後も管内事業所の現場の声を伺いながら、事業所、構成市町、当組合が一体となって、介護労働環境の改善と人材確保に努めてまいりたいと考えております。以上です。

○議長（池原 純一君）再質問を受けます。松倉 孝暁議員。

○3番（松倉 孝暁君）はい。再質問ではないですが、今ほどのご丁寧な答弁いただきました。構造的な人材不足は、業界の構造的な問題として、なかなか解決するものではないかなと感じているところがございます。ICT機器のやはり現場に対する導入の支援というものが肝なのではないかというふうに思っております。今ほど、情報面を主に言っただけかなと思います。いろんな支援のやり方があるのかなと思いますが、困ってらっしゃる事業者に対して、ぜひこの辺の伴走支援をお願いしたいということで述べさせていただいて、質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

○議長（池原 純一君）意見ということでよろしいですね。

○3番（松倉 孝暁君）はい。

○議長（池原 純一君）これにて松倉 孝暁議員の質問を終了します。

それでは日程第8、「議案第15号」令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計補正予算（第1号）、「議案第16号」令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第2号）の2件を一括議題といたします。

はじめに討論を行います。討論は、ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（池原 純一君）それでは、これより採決を行います。

議題のうち、「議案第15号」令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合一般会計補正予算（第1号）について、「起立により」採決いたします。

本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（起立全員）

○議長（池原 純一君）全員起立であります。よって、「議案第15号」は原案のとおり可決されました。

次に、「議案第16号」令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について、「起立により」採決いたします。

本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（起立全員）

○議長（池原 純一君）全員起立であります。よって、「議案第16号」は原案のとおり可決されました。

次に、「議案第17号」監査委員の選任についてを議題といたします。

議事を進めるにあたり、地方自治法第117条の規定により「6番 鍵田 昭 議員」の退室を求めます。

（鍵田議員 退室）

○議長（池原 純一君）はじめに討論を行います。討論は、ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（池原 純一君）これをもって討論を終結します。

これより採決を行います。「議案第17号」監査委員の選任について「起立により」採決いたしま

す。

本件について、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(起立全員)

○議長(池原 純一君) 起立全員であります。よって、「議案第17号」は原案のとおり可決されました。「6番 鍵田 昭 議員」は入場してください。

(鍵田議員 入室)

○議長(池原 純一君) 日程第9、「議会運営に関する調査について」を議題といたします。

本件を付託した議会運営委員会の調査の結果について、委員長から報告を求めます。「議会運営委員長 柳田 守 議員」

○1番(柳田 守君) はい。議会運営委員長報告。本委員会に付託され、議会閉会中の継続審査に付されております、「議会運営に関する調査について」その結果をご報告申し上げます。

本委員会は、本日、本定例会休憩中に開催し、委員長の互選を行った結果、委員長に私、柳田 守が選任されました。その後、議会運営に関する事項について協議を行った結果、本委員会では、審査事項を含め、議会運営の効率化等について、引き続き調査する必要があると認め、議会閉会中も、継続して調査すべきものと決定いたしました。以上であります。

○議長(池原 純一君) ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(池原 純一君) 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本件に対する委員長の報告は、「議会閉会中の継続審査」であります。委員長の報告のとおり、決することにご異議ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(池原 純一君) ご異議なしと認め、本件は「議会閉会中の継続審査」とすることに決しました。

以上で、本定例会に付議された案件は、全て終了いたしました。

これをもって、令和7年第3回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会12月定例会を閉会いたします。

最後に、武隈理事長からご挨拶があります。

○理事長(武隈 義一君) 12月定例会の閉会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

当局から提案いたしました議案につきまして、慎重ご審議を賜り、滞りなく議了され、ご承認い

ただきまして、心から感謝申し上げます。

審議の過程におきまして賜りましたご意見等につきましては、十分留意して事業執行に当たってまいりたいと考えております。

組合といたしましては、介護保険事業・ケーブルテレビ事業、いずれも地域住民に大変密着していることから、構成市町や関係機関と連携を密にしながら万全の運営に努めてまいりたいと存じますので、今後も議員各位のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本日を含め、今年も残り1週間となりました。年の瀬も押し迫った、大変お忙しい時期での当定例会の開催にご協力いただきましたことを、改めて感謝申し上げます。

皆様におかれましては、健康にご留意いただきまして、よいお年をお迎えいただきますよう、心からご祈念申し上げて、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

○議長（池原 純一君）皆様、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。

午後3時13分 閉会

以上の会議の次第を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年12月25日

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会議長

署名議員

野村 康幸

署名議員

由井 崇